

子ども・子育て支援事業計画関連施策（13事業）

| 番号 | 事業名 | 事業概要 | 平成27年度決算額(円) | 平成27年度実績 | 評価 | 平成28年度予算額(円) | 平成28年度の予定 | 所管課 |
|----|-------------|---|--------------|--|----|--------------|-----------|--------|
| 1 | 利用者支援事業 | 誰もが利用できる、子ども・子育てに関するサービスの総合案内として、就学前の子ども及びその保護者、又は妊娠している方やその家族等が自身のニーズに合わせた幼稚園・保育園等の施設や地域の子育て支援サービスを適切に選択して利用できるように、情報の提供や相談・支援を行う。 | 2,318,194 | 子ども及びその保護者等が、それぞれのニーズに合わせた子ども・子育て支援サービスを円滑に利用できるよう、地域の子ども・子育て支援に関する情報提供及び相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を総合的に実施した。 利用者支援事業「特定型」として、市の窓口において、主に保育施設の利用支援を実施した。 1 利用者支援員1人配置 2 利用相談受付件数 79件 3 出張利用者支援説明会 3回実施 | 4 | 2,364,593 | 継続して実施 | 子育て支援課 |
| 2 | 地域子育て支援拠点事業 | 乳幼児及びその保護者、又は妊娠している方やその家族等が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。 | 101,049,000 | 地域の子育て支援拠点として、子育て親子の交流の場の提供と促進、子育てに関する相談と援助の実施、子育てに関する情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等の実施、地域に出向いた活動等を実施。事業は社会福祉法人又はNPO法人に委託して行った。 地域子育て支援センター ：市内13か所 利用者数 保護者：40,878人 子ども：48,993人 合計 89,871人 | 4 | 101,049,000 | 継続して実施 | 子育て支援課 |

平成27年度地域子ども・子育て支援事業

| 番号 | 事業名 | 事業概要 | 平成27年度決算額(円) | 平成27年度実績 | 評価 | 平成28年度予算額(円) | 平成28年度の予定 | 所管課 |
|----|----------------------------------|--|--------------|---|----|--------------|-----------|--------|
| 3 | 妊婦健康診査事業 | 妊娠している方に対して、母子健康手帳交付時に14回分の妊婦健康診査受診票・助成券を交付。医療機関に委託して14回の妊婦健康診査のほか、HIV抗体検査、HBs抗原検査、HCV抗体検査、子宮頸がん検査、HTLV-1抗体検査、性器クラミジア検査、風疹ウイルス抗体検査を実施。委託契約のできない医療機関を受診した場合には、妊婦健康診査の受診料を償還払いで助成を行なう。 | 122,694,000 | 妊婦健康診査(1回~14回)については、延べ16,639人が受診した。 HIV抗体検査1,315件実施 契約医療機関は県内223件、県外723件の計946件。契約助産所は27件。(平成27年12月現在)契約医療機関以外で妊婦健康診査を受ける方には「助成金」の制度を案内し、契約医療機関で受診した方と同様に負担の軽減を図った。また、妊娠届出時にリーフレットを配布するとともに、助成券について説明し、利用拡大を図った。 | 4 | 124,856,000 | 継続して実施 | 保健センター |
| 4 | 乳児家庭全戸訪問事業 (赤ちゃん訪問・こんにちは赤ちゃん) | 生後4か月までの乳児がいる全ての家庭に、保健師や助産師が訪問し、子育てに関する相談や保護者の心身の相談に応じたり、母子保健サービスの情報提供などを行う。 | 7,881,000 | 赤ちゃん訪問件数 1,275件 | 4 | 8,159,000 | 継続して実施 | 保健センター |
| 5 | 養育支援訪問事業 | 子育てに対して不安や孤立感を抱える家庭や、様々な原因で特に養育支援が必要となっている家庭を訪問し、保健師・助産師・保育士による養育に関わる指導助言又はホームヘルパーによる家事の援助を実施することにより、適切な養育ができるよう支援する。 | 166,842 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者数 3件 派遣者 助産師、保育士 訪問回数 延べ21回 支援者研修会 年1回 | 4 | 513,000 | 継続して実施 | 児童福祉課 |
| 6 | 子育て短期支援事業 (ショートステイ・トワイライトステイ) | ショートステイ事業は、保護者が疾病・疲労など体上・環境上の理由により児童の養護が一時的に困難となった場合に、児童養護施設など保護を適切に行うことができる施設等において養育・保護を行う事業。 トワイライトステイ事業は、保護者が仕事等により帰宅時間が夜間になる場合や休日の勤務の場合に、児童養護施設等において一時的に預かる事業。 | — | — | — | — | — | 児童福祉課 |

平成27年度地域子ども・子育て支援事業

| 番号 | 事業名 | 事業概要 | 平成27年度決算額(円) | 平成27年度実績 | 評価 | 平成28年度予算額(円) | 平成28年度の予定 | 所管課 |
|----|-------------------|---|--------------|--|----|--------------|---|--------|
| 7 | ファミリー・サポート・センター事業 | 子どもの送迎や預かり等の援助を受けたい会員（利用会員）、援助を行う会員（協力会員）及び利用・協力の両方を行う会員（両方会員）からなるボランティア的相互援助の組織で、アドバイザーが会員の援助活動の調整を行う。 | 5,540,760 | アドバイザー3人配置 会員数 1,375人 （利用会員1,010人、協力会員240人、両方会員125人） 援助活動 延べ4,525回 主な活動内容 入会説明会4回、講習会17回、交流会6回実施、会報誌3回発行 | 4 | 5,568,000 | 継続して実施 | 子育て支援課 |
| 8 | 一時預かり事業 | 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、主として昼間において、保育園その他の場所で一時的に預かりを行なう。 | 70,708,300 | ・20園実施 ・延べ利用者数15,680名 ・3か所増（一般型）：光、みどりの丘、ぶりえ ・7か所増（余裕活用型） ・2か所増（市外幼稚園） | 4 | 70,483,000 | 継続して実施 | 子育て支援課 |
| 9 | 延長保育事業 | 就労時間の延長などにより通常の保育時間を超える保育が必要な場合、保育園等での保育時間を延長して子どもの預かりを行う。 | 37,692,900 | ・認可保育園29園・認定こども園1園・小規模保育4園実施 ※延長保育の基本分は給付費に含まれることとなったため、左記の金額は加算分の金額。 | 4 | 37,026,000 | 継続して実施 | 子育て支援課 |
| 10 | 病児・病後児保育事業 | 児童が発熱等の病気となった場合、病院や保育園等に付設された専用スペースにおいて看護師等が一時的に保育を行なう。 | 4,353,000 | ・1園実施(病後児のみ) ・延べ利用者数68名 | 3 | 4,353,000 | 継続して実施 | 子育て支援課 |
| 11 | 放課後児童保育室事業 | 親が共働きである世帯など、留守が多い世帯の小学生を対象に、児童館や学校の余裕教室、公民館等で、放課後に適切な遊びや生活の場を与える。 | 392,902,247 | 平成27年度延べ利用者数16,128名 延長保育登録者数453名 平成28年5月1日現在入室状況については別途資料参照。 東北放課後児童保育室の整備を行った。 （東北放課後児童保育室整備費用：51,347,492円※左記には含まれない） | 3 | 431,098,000 | 継続して実施していく。また、新堀放課後児童保育室について、新堀小学校隣接地に整備を行なう予定。 （新堀放課後児童保育室施設整備平成28年度予算：59,290,000円） | 子育て支援課 |
| 12 | 実費徴収に係る補足給付事業 | 特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用について、一部又は全額を助成する。 | — | — | — | — | — | 子育て支援課 |
| 13 | 多様な主体の参入促進事業 | 民間事業者の参入促進、多様な事業者の能力活用といった観点から効果が高いと考えられる事業を実施。 | — | — | — | — | — | 子育て支援課 |